

# 何が起きていたのか！ 北朝鮮が世界中で拉致した35年前の夏

## すべての拉致被害者を救出するぞ！ 国民大集会

平成25年9月16日(月、祝日)

午後2時～4時半 日比谷公会堂

今から35年前、1978年の夏、多くの日本人が拉致されました。政府認定17人のうち10人が同年6月から8月に拉致され、同じ8月、袋に入れられたままうさぎ跳びで逃げ出した拉致未遂事件も起きました。拉致被害は少なくとも世界13か国に及んでいますが、そのうち12か国の拉致もほとんど78年に集中しています。なぜ、わが国は、当時、「畑から大根を次々抜いていくような拉致」(横田早紀江さんの表現)を防ぐことができなかったのでしょうか。どうして、35年経つ現在まで、被害者の多くを取り戻せないのでしょうか。

もちろん、他の時期の拉致も判明していますし、未だに分からない拉致も多数あるはずで、政府もそのことを理解して「認定の有無にかかわらず全被害者を助ける」との方針を打ち出しています。

今回は、帰国できた被害者から、突然襲われ縛られ、袋に入れられて連れ去られた状況に関する生の証言を伺い、その怖さと悔しさに思いを馳せながら、すべての拉致被害者の救出について改めて決意を固めたいと考えています。また、担当大臣から、解決への方向、戦略などについて現状報告をしていただきたいと思います。

金正恩政権が被害者全員を返すという決断をし、拉致問題での交渉に応じなければ、日本も国際社会も金正恩政権の崩壊まで追い詰めるというメッセージを送り続け、行動で示さなければなりません。そして、日本国民は怒っており、全被害者が帰ってくるまでその怒りは解けないことを伝えなければなりません。

私たちは、下記の通り今年2回目の国民大集会を開催いたします。今回も家族会・救う会・拉致議連の他、知事の会、地方議連の5団体が主催するオールジャパンの集会です。

日比谷から怒りの声をあげましょう。皆様のご参加、ご支援を心よりお願いいたします。

### すべての拉致被害者を救出するぞ！ 国民大集会

- と き 平成25年9月16日(月、祝日) 午後2時から4時半まで  
開 場 午後1時(先着順)  
と ころ 日比谷公会堂  
(〒100-0012 千代田区日比谷公園1-3 03-3591-6388)  
地下鉄霞が関駅B2・C4口、内幸町駅A7口、  
日比谷駅徒歩5分
- 訴 え 家族会・救う会役員、拉致議連役員等、北朝鮮による拉致被  
挨 拶 害者を救出する知事の会代表、拉致問題地方議会全国協議  
会代表、政府代表、特定失踪者問題調査会役員と同家族  
参加費 無料(会場カンパ歓迎)



奄美大島沖で自沈した北朝鮮工作船内でみつけた日本製ゴムボート。拉致被害者は日本製ゴムボートで海岸から運び出されたのかもしれない。

## 私と母はこうして拉致されたー曾我ひとみさんの証言

私は、1978年北朝鮮に拉致されました。ちょうどお盆の前の8月12日の土曜日でした。私は看護師の仕事をして、決まって土曜日には家に帰り、日曜日の午後にまた寮に帰るといった生活が続いていました。

ちょうどその日も土曜日で、午後家に帰りました。お盆前ということで、母が少し足りないものがあるので買い物に出かけようということになりました。行きは病院であった話などを色々しながら、楽しく店まで着きまして、店で買い物を終えてまた家に帰る途中のことでした。

歩道を歩いていたんですが、7時を過ぎてもまだぼんやりと明るいくらいの時間帯でした。母と話をしながら歩いていましたら、何かちょっと後ろの方から人の気配を感じまして、一度後ろを振り向きまして。

そうしたところ、男の人が三人、縦並びじゃなく、横並びで、私たちのあとをゆっくりとついてくるのが見えました。「なんか変な男の人たちが後ろからついてくるね」と母と話しながら、「気味が悪いから早く帰ろう」と、少し足早に歩き始めた時でした。

後ろから三人の男の人が急に駆け寄ってきまして、道端にある植え込みの中に私と母親を引きずりこみました。その時私は口をふさがれて、袋をかぶされました。一緒にいた母親は、そのとき以来一度も声を聞くこともなく、姿を見ることもありません。本当に夢のような話で、自分自身もよく分からないところがいっぱいあります。

私は袋に入れられたまま小さな船のところまで行きました。その船の上にはしばらくいましたが、ちょっと離れた所で日本語を話している声が聞こえてきました。その日本語は佐渡の人が話している佐渡弁ではなく、日本人でもない、ちょっと発音が違う、そんな印象を受けています。

## 「泣いてばかりいた」拉致直後の増元るみ子さん

るみ子さんは、拉致された直後、ずっと泣いてばかりいたといいます。洋服ダンスの中で泣いていたら、指導員に見つかってしまった、裏山にある栗の木の下で泣いたこともあった、怖くて招待所のおばさんの部屋で一緒に寝ていたなどと、本人から聞きました。平壤市内のアパートに二人で住んでいたとき、夜、ベランダに出て外を眺めながら、帰りたいねえとお互い話しましたが、もうあまり泣くことはありませんでした。最初、いっぱい泣いたので、お互いの前でもう泣くことはなかったです。(蓮池祐木子さんの証言)

## 「子どもがいるから日本に帰して」拉致直後の田口八重子さん

八重子さんが北の南浦港に着いた時、女性通訳に「私には子供が二人いて、どうしても日本に帰らなくてはならないので、帰してほしい」と何回も言ってお願いしたそうです。八重ちゃんの思いは最初から最後まで子供のことでいっぱいでしたし、今でも間違いなく、「今彩ちゃんはいくつになって、耕ちゃんはいくつになった」と毎年計算して、どんな大人になったか、知りたがっているはず。すごく会いたがっていると思います。(地村富貴恵さんの証言)

**安倍首相に全面制裁の発動を  
求める、はがき・メールを！**

〒100-8968 千代田区永田町2-3-1 内閣総理大臣 安倍晋三殿  
首相官邸のホームページ=<http://www.kantei.go.jp/>の「ご意見募集」利用

**主催** 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会（代表 飯塚繁雄）  
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会（会長 西岡 力）  
北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟（会長 平沼赳夫）  
北朝鮮による拉致被害者を救出する知事の会（会長 上田清司）  
拉致問題地方議会全国協議会（会長 松田良昭）

**事務局** 救う会 〒112-0013東京都文京区音羽1-17-11-905  
電話03-3946-5780 F A X 03-3946-5784 担当=平田隆太郎  
info@sukuukai.jp <http://www.sukuukai.jp>（署名用紙・ちらしのダウンロード可）

**募金先** 郵便振替口座00100-4-14701「救う会」/ゆうちょ銀行 店名019 当座 0014701  
みずほ銀行池袋支店（普）5620780 救う会 事務局長 平田 隆太郎（ヒヲリウカウ）